

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 1 区分
 【発行日】平成 25 年 11 月 7 日 (2013.11.7)

【公開番号】特開 2012-132346 (P2012-132346A)
 【公開日】平成 24 年 7 月 12 日 (2012.7.12)
 【年通号数】公開・登録公報 2012-027
 【出願番号】特願 2010-284046 (P2010-284046)
 【国際特許分類】

F 0 4 C 18/02 (2006.01)

【F I】

F 0 4 C 18/02 3 1 1 M

F 0 4 C 18/02 3 1 1 F

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 9 月 18 日 (2013.9.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

端板上の渦巻壁を形成する固定スクロール部材と、
 この固定スクロール部材と噛合し、圧縮室を形成すると共に基板上に渦巻壁を形成する
 旋回スクロール部材と、
 この旋回スクロール部材を公転させ、少なくとも偏心軸とブッシュと、自転防止機構と
 を備えた公転機構と、
 この公転機構に回転力を与える駆動軸とより成るスクロール型圧縮機において、
 前記ブッシュに貫通孔を形成すると共に、前記駆動軸の端面にあって軸方向に嵌合孔を形
 成し、
 前記偏心軸を頭部付偏心軸とし、この頭部付偏心軸を前記ブッシュの貫通孔に挿入した
 後に、前記嵌合孔へ圧入したことを特徴とするスクロール型圧縮機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 1】

この発明に係るスクロール型圧縮機は、端板上の渦巻壁を形成する固定スクロール部材
 と、この固定スクロール部材と噛合し、圧縮室を形成すると共に基板上に渦巻壁を形成す
 る旋回スクロール部材と、この旋回スクロール部材を公転させ、少なくとも偏心軸とブッ
 シュと、自転防止機構とを備えた公転機構と、この公転機構に回転力を与える駆動軸とよ
 り成るスクロール型圧縮機において、前記ブッシュに貫通孔を形成すると共に、前記駆動
 軸の端面にあって軸方向に嵌合孔を形成し、前記偏心軸を頭部付偏心軸とし、この頭部付
 偏心軸を前記ブッシュの貫通孔に挿入した後に、前記嵌合孔へ圧入したことを特徴として
 いる（請求項 1）。